

1 1 学校生活の決まり

(1) 制服の意義

本部中学校の学校教育目標は「ふるさとに誇りを持ち、未来を切り拓く、人間力の高い生徒」です。

本部中学校は制服を採用しています。様々な背景や価値観を持った生徒が、本部中学校での統一した制服やジャージを着ることで、仲間意識や一体感を生み、先輩方から受け継がれた制服を着ること＝『ふるさとに誇りを持つ』ことにつながります。

社会に出る際には、服装が与える印象が重要になります。制服を着用することで、社会における服装の重要性を理解する機会を得ることができ、さらに、生徒自身が服装に対する意識を高め、将来の自分自身にとって重要なスキルを身につけることができます。このように、身に着けた能力や知識が『未来を切り拓く』原動力につながります。

生徒自身が校則はなぜ必要なのか。本当に必要なものなのか。校則の見直しについて確認したり議論したりすることで、「自立」「学び」「人間性」を兼ね備えた『人間力の高い生徒』の育成につながります。

本部中学校の生徒として、学校教育目標を目指し、制服に誇りをもって着こなしていきましょう。

(2) 学校生活のルール

- ① 8時5分登校を推奨する。(8時10分全員読書スタートするため)
- ② 帰りの会終了後、特別な活動がある場合は、関係職員の指導と責任において残ることができる。
- ③ 部活動以外の生徒の特別の活動についても部活動の事項に準じて下校する。
- ④ ジャージ登校の時は、登下校でジャージ下を着用すること。
- ⑤ 登下校は、正門を通ること。
- ⑥ 登校後は許可なく校外に出てはならない。
- ⑦ 学習用具以外のものは校内に持ち込まない。
- ⑧ 原則として、他学級の教室及び特別教室への無断出入りは禁じる。

(3) 指導の流れについて

- ① 校則(決まり)違反等(遅刻・欠課・服装・持ち物・ガム等)の指導手順について
 - ア 担任、学年指導
 - イ 保護者連絡(遅刻、欠課等1回目から)(場合によっては保護者へ来校してもらう)
 - ウ 必要に応じて指導(全体指導、保護者を交えて教育相談等)
- ② 重大な問題行動・触法行為等(いじめや暴力行為・破損行為・恐喝等)の指導手順について
 - ア 事実確認
 - イ 保護者連絡、関係機関へ報告
 - ウ 必要に応じて特別な指導計画を立てる。